



昭和大学病院

検索



昭和大学病院附属東病院

検索



発行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者 昭和大学病院長 板橋 家頭夫
編集責任者 広報委員長 中村 清吾
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
TEL : 03-3784-8000 (代表)

昭和大学病院感染管理部門 部門長

同 感染症内科 教授 二木 芳人

12月は感染症のシーズンです。特に冬季に毎年大流行するインフルエンザやノロウイルス感染症に注意が必要です。この原稿を皆さんがお読みになっているころには、あるいはインフルエンザが流行し始めているかもしれません。今年の流行株は香港型と予測されていますので、高齢者の方が罹患すると重症化する可能性が高く、肺炎などの合併にも注意が必要です。インフルエンザにはワクチンがあります。今からでもまだ間に合いますので、未接種の方は接種を検討してください。高齢者の方は合わせて肺炎球菌のワクチンを接種することが肺炎の予防や重症化の防止には大変有益です。

インフルエンザもノロウイルスも流行期には感染しないように予防を心がけることが大切です。最も基本的な予防法はマスクとうがい、それに手洗いです。日頃から習慣づけてこまめに手洗いをしましょう。医療従事者の方々は、特に手洗いは普段から心がけてくださっていると思いますが、この時期は特に徹底し、周囲の患者さんや一般の方々にもお手本を示していただきたいと思います。もう一つ医療従事者や大学病院で研修している学生さんたちにとって大切なことは、いくら注意していても感染してしまうことがあります。その時に周囲に感染を広げないように万全を期してほしい、ということです。熱があったり、下痢や嘔吐があるのに無理をして、病院に来ることだけは避けてください。早目に受診をするか、感染管理

室や健康管理センターなどに相談をして、その指示を受けるようにしてください。

最後にもう一つお願いがあります。それは抗菌薬（抗生物質）を大切に使うほしいということです。

インフルエンザはウイルスですから、抗菌薬は無効です。いわゆる風邪もウイルスによるものが殆どですから、抗菌薬は必要ないのです。今年の春に、政府は耐性菌対策のアクションプランを公表しました。その中で、むやみな抗菌薬の使用は耐性菌の出現や増加を助長するので、慎みましょうと謳っています。風邪のシーズンですので、つい抗菌薬を処方したくなるかもしれません。また抗菌薬を飲みたくなるかもしれません。処方する側（医師、薬剤師）も、処方される側（患者さん）も、耐性菌をこれ以上増やさないために、抗菌薬がどのような時に必要かをこの機会に考えてみませんか？



患者さん本意の質の高い“優しい医療” 最先端の超音波・内視鏡的診断治療

消化器内科では、腹部や背部の症状を有する患者さんや、血液・尿・便などの一般検査で消化器官の異常所見を指摘された方々の診療を軸とし、消化管領域、肝臓領域、膵胆道領域など専門領域に異常をきたした患者さんの診療を行っています。各グループには複数の指導医、専門医がおり、科学的根拠に基づいた診断、治療を行なうことはもとより、医系総合大学の病院である特性を生かした先進医療の実施ならびにチーム医療の充実化を心がけ、より多くの患者さん、そして地域医療機関の方々に信頼していただけるよう日々研鑽を積んでおります。

診療体制

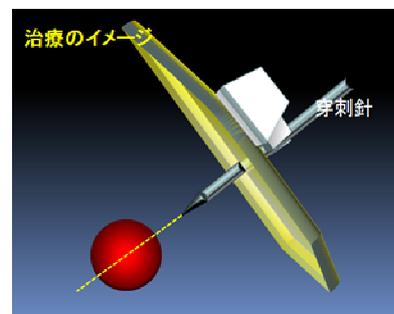
- 消化管：上・下部消化管出血に対する内視鏡的止血療法、ポリープ、腫瘍に対する内視鏡的粘膜切除術（EMR）、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）。進行悪性腫瘍に対する化学療法。潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患の診断、治療。
- 肝臓：B型およびC型慢性肝炎に対する抗ウイルス療法。肝腫瘍の総合画像診断。肝細胞癌に対するラジオ波焼灼術、肝動脈化学塞栓術。難治性腹水、食道・胃静脈瘤などの門脈圧亢進症の治療。
- 膵胆道：膵胆道の悪性腫瘍に対する早期診断と治療。膵腫瘍、消化管粘膜下腫瘍の確定診断のための超音波内視鏡ガイド下針生検（EUS-FNA）。膵仮性嚢胞に対する超音波内視鏡による経胃的ドレナージ。重症急性膵炎に対する動注療法や持続的血液濾過透析（CHDF）。膵炎における walled-off necrosis（WON）に対する内視鏡的ネクロセクトミー（ETN）。胆道感染症、良・悪性胆道狭窄に伴う閉塞性黄疸に対する内視鏡的胆道減圧治療。胆道結石症に対する載石術。自己免疫性膵炎や IgG 4 関連硬化性胆管炎をはじめとする IgG4 関連疾患の診断と治療を実践しています。

また、各疾患に対する基礎的研究、臨床研究に打ち込むことで、疾患の本質を追求し、患者さんにとって安全かつ、苦痛の少ない効率の良い診療ができるよう学内外で力を養っております。

特徴的な治療領域

・ラジオ波焼灼術（RFA）

肝臓癌に対するラジオ波治療は、超音波画像下で癌に直径 1.5 ミリの電極針を挿入し、ラジオ波を流して癌細胞を焼灼、破壊します。全身麻酔や開腹手術の必要がなく、肝機能が悪い場合や高齢者でも治療が可能です。肝臓癌は再発が多い癌です、再発が見つかって、ラジオ波治療は侵襲（身体の負担）が少ないため繰り返し治療を行なうことが可能です。



・食道・胃静脈瘤（門脈圧亢進症）の治療

門脈圧亢進とは、本来肝臓を経由して心臓に戻る門脈血流が肝硬変のため門脈圧が亢進し、食道や胃の周囲など他の血管（側副血行路）を介して心臓に戻る状態です。問題は食道や胃に静脈瘤を形成し破裂して出血をすることで命にかかわる状態になる危険があるため、静脈瘤を認めた方は定期的な上部消化管内視鏡検査、造影 CT 検査が必要です。当院ではさらに超音波内視鏡（EUS）を用いて静脈瘤の状態を把握し、内視鏡的静脈瘤硬化療法（EIS）、内視鏡的静脈瘤結紮術（EVL）および、バルーン下逆行性経静脈的塞栓術（B-RTO）などを用い適切な治療法の選択を行っております。

消化器内科 診療科長：吉田 仁（Yoshida Hitoshi）

趣味：音楽、観劇、小動物、読書、山登りは初心者

日頃より個々の患者さんに配慮した治療を行うように心掛けています。

最近では多くの疾患を合併した方や多臓器障害を合併する疾患が増えているため、他の診療科と連携を密にしながら、並行で、あるいは、優先順位を確認の上治療を行ない、クオリティーの高い検査および治療の向上と推進に努めております。



脳腫瘍の手術治療は、『脳腫瘍外来』へご紹介ください。

脳腫瘍は10万人に1人程度発生するといわれる比較的稀な疾患です。しかし昨今の脳ドックやMRI等の普及により、偶然脳腫瘍が見つかる機会も増えてきました。我々は、そのような患者さんも手術治療により、後遺症を残さずに普段の生活に戻っていただくことを理念にしています。脳神経外科では、手術・血管内塞栓術のエキスパートがハイブリッド治療にあたります。

対象の疾患

良性脳腫瘍（頭蓋底腫瘍）

髄膜腫・神経鞘腫などが主な疾患です。脳の表面に存在する髄膜腫の手術には特殊な手技の必要はありませんが、脳深部の髄膜腫や聴神経鞘腫を代表とする神経鞘腫などの頭蓋底腫瘍には熟練した手術手技が必須です。当院では「頭蓋底鍵穴手術（※）」を駆使し術前の症状を改善し、新たな神経症状を出さないことをモットーに治療にあたっています。

悪性脳腫瘍

代表的なものはグリオーマ、悪性リンパ腫、転移性脳腫瘍などです。これらの腫瘍が見つかったからといって積極的な外科治療をあきらめてはいけません。適切なアプローチで重要な脳回を温存し、腫瘍を摘出すれば命を救うことが可能なケースが少なくありません。

鍵穴手術とは：

開頭手術による開頭範囲を小さくすることで、手術による患者さんの肉体的・精神的負担を減らし、手術中の出血を抑える高度なスキルが必要な手術手技です。（清水医師が得意としています）

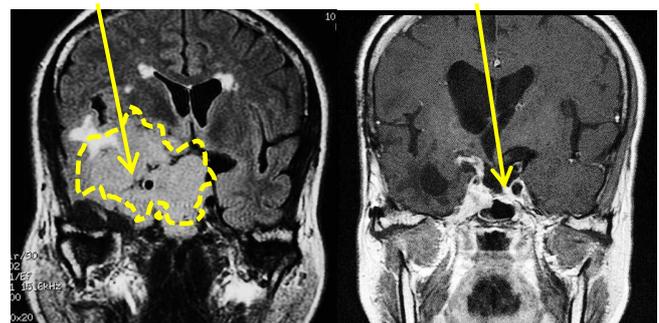
※全ての手術を鍵穴手術で治療するわけではありません。3D-CTを用いて症状や病変に合わせて判断し、患者さんへ適切に事前説明を行ったうえで、鍵穴手術を行うことを目的としています。

超拡大顕微鏡を用いた鍵穴手術(左:清水医師)



頭蓋底下下垂体線種・MRI
(トルコ鞍から大きく進展した腫瘍を摘出)

内頸動脈を巻き込み進展した腫瘍 正常下垂体は温存



手術前

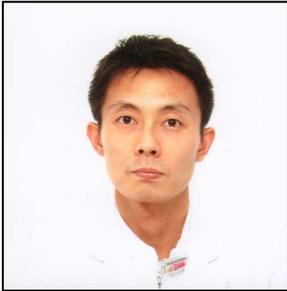
手術後

受診の手続き

- ◆外来日：毎週木曜日：午前
- ◆「かかりつけ医」もしくはご本人より、医療連携室（03-3784-8400）へお電話していただき、「脳腫瘍外来」のご予約をお取りください。
- ◆担当医：清水 克悦（脳神経外科 准教授）
日本脳神経外科学会専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医 など



～このコーナーでは専門資格を有している
熱血メディカルスタッフの方を紹介します～



野田 主税さん

Q. 『Ai 認定診療放射線技師』とはどのような仕事をしているのか？

私達、Ai 認定診療放射線技師は、何らかの原因で解剖ができない場合、CT装置やMRI装置を用いて、画像から死因を特定するための検査を行います。大学病院におけるAi検査の依頼件数は年間10件程度であり、頻度は少ない状況ではありますが。しかし、診療放射線技師の世界では、認定技師精度を確立するほど、重要視されている分野でもあります。認定技師としての役割は、撮影プロトコルの整備や、実務者への教育（撮影手順や感染防止対策、周囲への倫理的配慮）、Ai学会からの情報提供を実務に取り入れ、常に最新の情報でAi検査が施行できる様に対応しております。



Q. ご遺族に対するメッセージをお願いします。

東京都23区では、原因不明の突然死に対して、監察医制度により解剖を行いません。しかしながら、監察医制度の無い地域では解剖が行なわれず、死因が特定されないことがあります。死因を特定するための1つの方法として、Ai検査があります。Ai検査はご遺体を傷つけることなく、体内を評価することで「患者さんの最後の訴え」を聞くことができます。また、Ai検査は万能ではありませんが、検視方法のひとつである外表検査と比べると、格段に多くの情報を得ることができます。Ai検査施行につきましては、ご遺族様のご意向に従いますので、医師にご相談ください。

院内コンサート報告

10月28日に第20回東病院院内コンサートが開催されました。ボランティア担当として活躍されていた太田さんが9月末で退職され、今回はコンサートボランティアとして、地元で活動しているボランティアグループ：ジージーズのお仲間と一緒に演奏され、楽しい時間を作って下さいました。

コンサートの時間が、丁度検査と重なってしまい残念がっていた患者さんは、せめて練習風景でもと楽しそうに聴いていました。“故郷の歌”は、日本語版・韓国語版で歌われたり、“川の流れるように”“見上げてごらん夜の星を”と心に寄り添う歌から、“コカ・コーラの歌”“この木何の木”と、心が弾むポップな歌まで、幅広い音色で包まれました。最後は皆で“ふるさと”を合唱し、河村病院長も参加され、アツという間の30分でした。

ジージーズの皆様、有難うございました。

＜参加された方々の声＞

- ・患者さん、院長先生も、皆さん一緒でとても良かったです。
- ・ジージーズのネーミングが素敵ですね。ちょっとほっこり楽しい時間を過ごせました。
- ・院内コンサート3度目の参加（長い入院です。）気分転換、良かったです。



院内コンサート中の様子

文責：管理課

手洗いキャンペーン実施報告

「手洗いキャンペーン」を11月8日から11日にかけて実施しました。食堂では、食事前に普段の手洗いを確認し、申し込みのあった部署では、多くの職員や患者さん、患者家族の皆さんにご参加いただき、参加者は4日間で合計670名（大学病院488名、東病院182名）に上りました。

これからは空気が乾燥する手荒れの季節です。手荒れを起こすと細菌が定着しやすく、**アルコールがしみて手指衛生の妨げ**となるため、ハンドクリーム等でこまめな**保湿**をお願いいたします。また、インフルエンザや感染性胃腸炎が流行する季節です。**食事前**や**トイレの後**、**外出後の手洗い**を行い、「もらわない」「うつさない」感染予防に皆様のご協力をお願いいたします。

お尻を拭いたあとの手の汚染
トイレを起点とするノロウイルス汚染拡大の検証
長野県北信保健福祉事務所より



入院棟10階
患者さんも職員も
手洗い上手！

東病院栄養科
毎年恒例
手洗い確認！



洗い残しのクセを知ってもらい、
きれいな手を体感してもらいました♪

食堂や各部署、病棟での洗い残し確認を確認する様子

♪参加した皆さんからのご感想♪

- ・洗い残ししやすい部分がよくわかりました。急いでいても手洗いはしっかりしようと思います。
- ・利き手側の手や手首、乾燥に注意して手洗いを行っていこうと思いました。
- ・大変よくわかりました。いい時に入院してラッキーでした。今後気をつけて手洗いを実行します。
- ・まず手荒れを治して、より手洗いの効果が得られるようにします！ハンドケアをがんばります！

.Oo. 手荒れ予防のポイント. oO

- ①**石鹸とアルコール**：手洗いより保湿成分が入ったアルコール性手指消毒薬の方が手荒れ予防に効果的です。でも、手荒れでアルコールがしみる時はアルコール使用を控えましょう。
- ②**拭き取り**：ペーパータオルとの摩擦は手荒れを増強させる原因となります。こすらず、手に押し付けるようにして水分を除去しましょう。
- ③**予防が大切**：一度手が荒れるとなかなか治りません。手荒れしないよう予防しましょう。ご自身に合ったハンドクリームを選びこまめにぬりましょう。
- ④**皮膚科の受診**：手荒れの程度が大きく、皮膚保護剤での予防や改善が難しい場合は、皮膚科を受診しましょう。

皮膚科医のアドバイス (皮膚科教授 末木博彦)

- ・アトピー性皮膚炎の既往がある方は手湿疹に注意が必要です。
- ・炎症症状の強い場合、すなわち、小水疱・滲出液や大小の亀裂がある場合、爪の周りが赤く腫れる場合は皮膚科受診が必要です。

ボイラー祭実施報告

寒さが段々と厳しさを増していくこれからの季節に、昭和大学病院・附属東病院では建物内の空調設備を冷房から暖房運転に切り替えます。その暖房運転の要となるのが高温の蒸気を発生するボイラー設備です。そのため、冬場の主力熱源として日々稼働し続けるボイラー設備に携わる職員の健康と安全を祈願して毎年、この時期には“ボイラー祭”が執り行われます。ボイラーの本格的な稼働にあたって、機器の安全運転と職員の健康を祈願する儀式を今年度も無事終了しました。



中央棟神事の様子



昭和大学病院のボイラーにスイッチを押す様子
板橋昭和大学病院長（写真中央）

文責：管理課

世界糖尿病デー実施報告

糖尿病は世界的に増加の一途をたどっており、年間実に500万人以上が糖尿病の引き起こす合併症などが原因で死亡しています。これは世界のどこかで6秒に1人が糖尿病に関連する病で命を奪われている計算となり、AIDSによる死者に並ぶ数字となっています。世界保健機構 WHO は糖尿病患者の増加に歯止めをかけるため啓蒙活動に取り組んでおり、1991年にはインスリンを発見したカナダの医師フレデリックバンチングの誕生日を世界糖尿病デーと制定しました。この日は毎年、世界中で糖尿病予防に関する様々なイベントがおこなわれている。

本年も糖尿病代謝内分泌内科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士などの病院スタッフが趣向を凝らし、東病院で11月10日に糖尿病デーイベントをおこないました。多くの患者さんやご家族に参加していただき、大盛況のうちにイベントを終えることができました。HbA1c簡易測定159名、特別糖尿病教室50名、CAVI検査（動脈硬化検査）50名、ペインビジョン（神経性疼痛検査）20名、血糖値により献立516食（11/7～14の期間中東病院2階食堂で提供）という実績でした。「勉強になった」、「自分のHbA1cを知ることができてよかった」など多くのうれしい意見をいただきました。参加していただいた方々のたくさんの笑顔から、今後の糖尿病診療に向けての元気をもらうこともできました。



テーマカラーのブルーに
ライトアップした様子



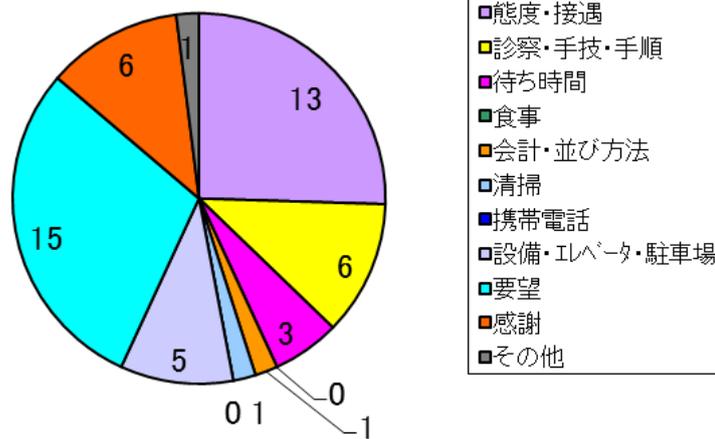
無料HbA1c測定コーナーの様子

文責：糖尿病・代謝・内分泌内科

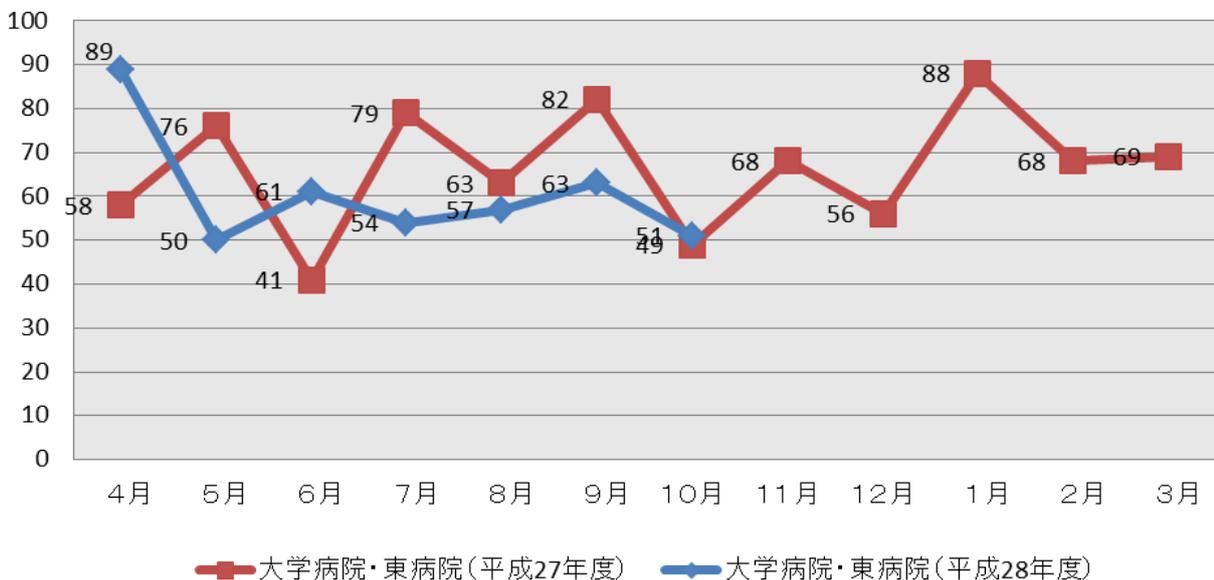
患者さんのご意見・要望

ご意見・要望	回 答	回答部署
<p>数年前に内視鏡検査を受けたときは薄暗い印象でした。本日久しぶりに来てみたらとてもきれいになっていて、スタッフの方々も笑顔で明るくなったように感じ、不安なく受けることができました。</p>	<p>お褒めのお言葉をいただき大変励みになりました。地下1階の内視鏡センターは平成26年3月に改修が完了しました。これからも内視鏡検査を受ける患者さんに安心して、次回もここでと思ってもらえる環境づくりをしてまいります。</p>	<p>内視鏡センター</p>

平成28年10月掲載分
ご意見・要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数
51件



平成28年度ご意見・要望の推移



各種お知らせ

- ・第21回東病院院内コンサート
日時：12月16日（金） 15:00～15:30
場所：3階デイルーム
出演：「おもひでサンデー」マンドリンボランティア楽団
曲名：諸人こそりて、高原列車は行く、青い山脈など



- ・第77回昭和大学病院院内コンサート
日時：12月17日（土） 15:00～16:00
場所：中央棟1階ロビー
出演：「エンジェルマミー」女声合唱団
曲名：NHK朝ドラ主題曲（麦の唄、雨のち晴れるや、虹色など）

編集後記

この間病院でエレベーターを待っていて面白い会話を聞きました。面会の方がお友達に話しています。「何で医者の方ってみんな読みにくいんだろう」答えて曰く「患者が見てもわからないような書き方を大学で教えているんだよ」。二人で納得していましたが、決してそんなことはありません。現にきれいな文字を書く医師はたくさんいます。来年度からは電子カルテが導入されて我々医師の文字をご覧になる機会が減りますからこのような会話はなくなると思います。

鈴木 隆

昭和大学病院・附属東病院の理念

- ・患者さん本位の医療
- ・高度医療の推進
- ・医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- ・患者さんが受診しやすい、患者さんのQOLを重視した、質の高い医療を提供する。
- ・地域医療機関との連携を推進し、特定機能病院としての医療を担う。
- ・教育病院としての機能を充実して卒前・卒後の研修・実習および生涯教育を通して、質の高い医療人の育成を行う。
- ・生命倫理を尊び、科学的根拠に基づいた高度な臨床研究を実施する。

ご意見・要望につきましては、メールアドレス：tayori@ofc.showa-u.ac.jpまでお願いいたします。
病院広報委員会委員：荒川 千春、磯飛 雄一、大嶽 浩司、河村 満、佐藤 久弥、白井 敦、鈴木 隆、中村 清吾、平野 勉、間部 亮仁、結城 祐磨、吉田 仁、渡邊 聡（50音順）